

保育園落ちたの私だ！ 過労死予備軍は私たちだ！

そうだ！選挙に行こう！！

わたしの1票が政治を変える！

3月、国会の質疑に怒り、ブログに「保育園落ちたの私だ！」と投稿がありました。それに賛同した人々が、世代を超えて、子どもの認可保育園入所に苦労した経験者が2万人を超えて国会前に集まりました。

この事態を重く見た国会では「待機児童」と「保育士の確保」の問題が取り上げられ、法制化されようとしています。まさに世論が国政を動かしたということなのです。

選挙権は国民の権利

18歳以上が投票できるようになりました。高校生の政治活動をどうするのか、ということが議論されています。それとともに、教職員の「政治活動」や「中立性」についても議論されています。香教組本部には「職員室で政治の話がでなくなつた」「『体育館で候補者の演説会が開催されるので、誤解を招くといけない。残業しないように』と早々に職員室の施錠をされた」という話が寄せられています。そのためかどうか、2015年の地方統一選挙では、教職員の投票率はかなり低かったのではないかと言われています。しかし、私たちは教職員であると同時に国民であり県民です。平和で安全な国や県を目指し国民や県民のために政治をする人を選ぶことは、私たちの権利です。私たちは直接、政治には参加できませんが、私たちが選んだ人が、私たちを代表して政治

「日本死ね」の代わりに署名
「保育園落ちたの私だ！」には、続いて「日本死ね！」と記されています。このブログの内容はかなり社会の動きを知っていることをうかがわせます。「日本死ね！」という言葉には賛同できませんが、このブログが世論を動かしたのは間違いありません。

私たち教職員は「署名」「請願書」という形で長年に渡って議会に現場の声を届けてきました。ここ数年、教育現場の多忙化にも拍車がかかり、署名数も伸び悩んでいます。その影響でしょうか。2016年度の文科省の概算要求には35人以下学級についての項目はありませんでした。香川県に於いても前進はありませんでした。

子どもたちの教育環境改善のために、私たちの生活改善のため

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
【組合員の購読料は組合費に含む】

香教組ホームページ
<http://kakyoso.com/>

支部長書記長会
6月16日(木)
19:00~
香教組会館2F
職場の困った！を
お近くの組合員へご
相談ください。

2016年 原水爆禁止国民平和大行進

2016年も5月6日に原水爆禁止平和行大行進がスタートしました。5月22日(日)愛媛県境、道の駅「とよはま」で、愛媛県から引き継ぎました。6月5日(日)徳島県へ引き継ぐまで、核兵器廃絶を訴えて毎日県内を行進します。オバマ大統領も広島を訪問します。1歩でも2歩でも参加しませんか？



平和行進に参加した愛媛県と香川県のみなさん

め、香教組が取り組んでいる署名は重要です。

教育現場はせめても限界

香川県では、2015年度現職死が5名を越えています。新規採用者の病気休職の話も少なからずあります。教職員がはつらつとした笑顔でいることができない教育現場で、子どもたちが明るく元気よく成長できるのでしょうか。

子どもたちの平和で安全な未来、夢を語る事ができる未来を実現できる議員を選びたいのです。「どうせ変わらない」などと思わないで「私の一票が政治を変える」と考え投票しようではありませんか。投票することは憲法で保障されている権利です。

7月の参議院選は、子どもたちの未来のため、私たちの命のために選挙にいきましょう。

市民運動が政治を変える！ 政治が変わることで市民の運動が励まされる...

「保育園に入れなかったことは自己責任にされて、つらさを誰とも共有できなかった」「『政治に何を言っても変わらない』とあきらめ、無関心だったが、今回の私たちの訴えが法案になって野党が共同提出してくれた。これをぜひ成立させて結果を出したい。みんなで成功体験をつくりたい」

「国会前スタンディング行動の主催者の1人 法案提出後の院内集会における発言より」

15年度、支部や分会で積極的に署名の取り組みがされた。丸亀支部は、全職場を訪問。快く署名に協力してくれた上に、「がんばって！」と声をかけてくれる人もたくさんいたと報告された▼「家に持ち帰り、家族にも協力してもらうから」と言うので、署名用紙を1枚渡した。後日、丁寧なメッセージとともに郵送されてきた▼またまた胸が熱くなった封筒に何度も何度も「ありがとう」と言った▼世の中が少しずつおかしくなっている。今こそ、教職員が手をつなぎ声を上げるときではないか。署名や激励を一步超えて、香教組の組合員となり、子どもたちのために教職員のためにともに歩んでくれる人を求む！

ありがとう

15年度、支部や分会で積極的に署名の取り組みがされた。丸亀支部は、全職場を訪問。快く署名に協力してくれた上に、「がんばって！」と声をかけてくれる人もたくさんいたと報告された▼「家に持ち帰り、家族にも協力してもらうから」と言うので、署名用紙を1枚渡した。後日、丁寧なメッセージとともに郵送されてきた▼またまた胸が熱くなった封筒に何度も何度も「ありがとう」と言った▼世の中が少しずつおかしくなっている。今こそ、教職員が手をつなぎ声を上げるときではないか。署名や激励を一步超えて、香教組の組合員となり、子どもたちのために教職員のためにともに歩んでくれる人を求む！

小黑板

新年度が始まり、
ばたばたと学習参観、
PTA総会、運動会
と行事の目白押し。

全教青年部総会参加報告

青年部総会に参加して
1日目は、全国の青年部の取り組みを聞くことができました。愛知では、SNSを使ったつながりを活かしていること。広島では広島（加害）ヒロシマ（被害・被ばく）広島（現在）の表し方でわかる立ち位置について考えたことなどの報告がありました。

2日目、ブロック討議では組合活動の細かい話を聞くことができました。



香教組の活動の様子について
報告する青年部長

た。その中で印象的な言葉は、「あなたの悩みがみんなの学びになる」です。人と人とのつながりがあるからこそ言える言葉かなと思ひ、もつと県内外でつながりたいと思ひました。

香川県の教職員の約半数が青年層です。香教組に加入し、しっかりと学び、しっかりと遊び、ともに子どもたちの未来や教職員の働き方について考えませんか？



5.20中央行動 公務員の賃金改善を要求!



総務省前に700人

「戦争法廃止2000万署名」約224万人、労働時間と雇用の規制強化を求める署名83万916人、全国一律最賃制を求める署名253万680人分を提出しました。

急に気温が上がりました。5月では、なかなかエアコンも入らないと思います。かエアコンも入らないと思います。

気温が上がると「上靴をぬぐ」「靴下を脱いで裸足で走り回る」「カッターシャツの裾を意図的に出す」「シャツのボタンをしめたがらない」「『くさい!』としつこく言う!」など子どもたちの行動が

大人の感覚で言うと「乱れ始めます。」

「これくらい我慢できないのか」とつい思ってしまうのですが、発達障害の子どもたちの中には、感覚に鋭いタイプが多数います。たとえば、「体温が上がると、足がむずむずして上靴をはいていられないくなる(靴下も)」「隣の子の体温を不快に感じる」「体臭などが耐え難い臭いに感じる」など子どもによって様々ですが、

「みんながまんじています」「みんなをやっ

「いや」「できない」は感覚過敏を疑ってみる

気温の上昇とともに顕著に・・・

「シリーズ」子どもとかかわる④

「みんながまんじています」「みんなをやっ

普通のは感覚では、理解しがたい訴えをします。現行の設置基準と児童定数では、教室のマイ空間は大変狭く、空気も常に淀んでいます。それを快適にするには、広い教室に少ない児童数を実現するしか方法はないのですが、少し時間がかかりそうです。そこで、この特性のある子どもたちは大変苦しんでいるのです。まずは、そのしんどさを受け止めるような言葉かけを

募集!

6月25日(土) 高教組主催
レクリエーション大会IIバレーボール・ソフトバレーボールII
が開催されます。

メンバーを募集しています!

組合員も組合員でない方も汗を流してリフレッシュしませんか?

- バレーボール 坂出市立体育館
- ソフトバレーボール 高松市立山生山公園体育館

いずれも9時から

参加を希望する方は、お近くの組合員か

香教組本部へ (087-867-4797)

第2回パワーアップ学習会のご案内

2017年度教員採用選考試験に向けて対策講座を開催します。1人ではできない「集団面接」の練習をします。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加ください。

- 1 日時 6月19日(日) 10:00~12:00
- 2 場所 高松テルサ 大会議室
- 3 参加費 300円(資料代)

どなたでも参加できます。直接会場にお越しください。

これからのササケル「おおきなかぶ」

(いずれも19:00~資料代100円 ※どなたでも参加できます)

- 高松会場 (香教組会館 2F) 6/7 6/21 7/5
- 丸亀会場 (丸亀生涯学習センター 5F) 6/1 6/15 6/29 7/13
- 大川会場 (大川教育会館) 6/8 6/22 7/6
- 三豊会場 (三豊教育会館) 6/13 6/27 7/11

全国寄宿舍指導員学習交流集会in香川

2016年 7月30日(土) 31日(日)

第2回フシ大会&教育講座

人間を大切にすること
—能力主義的生存競争と障害のある子どもたち—

2016年6月12日(日) 14時~16時半

講師 鳥取大学教授 三木裕和先生
場所 高松テルサ 303会議室

発達障害の子どもたちが、競争的環境の中で強い生きづらさを感じています。教師も同じような生きづらさの中で仕事をしています。「共感的な人間関係」と言葉では簡単に言いますが、それはどのように成立するのでしょうか。三木先生が出会った事例をもとに一緒に考えてみましょう。

参加費 無料 みなさんぜひ参加しましょう